

令和7年度多摩川水系河川整備計画変更

いっしょに

考えてみませんか
多摩川のこれから

僕といっしょに
多摩川を考えよう♪



たまかっぱ

多摩川水系河川整備計画が変わります！

たまたがわすいけいかせんせいびけいかく 多摩川水系河川整備計画って何？

簡単に言うと、**多摩川の川づくりをするための計画**です。

たまたがわ かんり こくどうつうしょう こんご ねんていど じっし ぐたいてき ないよう さだ しょうらい けいかく
多摩川を管理している国土交通省が、今後30年程度で実施する具体的な整備内容などを定めた将来の川づくり計画です。

今の多摩川水系河川整備計画は平成13年（2001年）にできたもので、20年以上が経ち、雨の降り方などが変わってきているので、

この度、多摩川水系河川整備計画を変更することになりました！

いしはらちてん とうきょうとちようふし みず りょう へんこう
石原地点（東京都調布市）で流せるの水の量を、これまでの4,500m³ /sから7,200m³ /sに変更します

河川整備計画は、河川法という法律で決めることが義務付けられているものなんです。

けいかくへんこうご たまたがわ なが みず りょう
計画変更後に多摩川に流れる水の量 7,200m³/sは、**すごい量だね！**
1秒間に小学校の25mプールが20杯も満杯になるんだ！！
25mプールの大きさ 25m × 幅12m × 深さ1.2m = 360m³



かせんほう だいじゅう
河川法 第16条の2だよ！



かせんせいびけいかく へんこう どうして河川整備計画を変更するの？

河川整備計画ができてから24年の間に社会は変わり、

みらい もくひょう かんが
未来のための目標の考え方も変わってきました。

また、近年は想定していた量を上回る雨が降ることも多く

なっています。その洪水を安全に流すため、河川整備計画も

か ひつよう
変える必要があります。



そうてい りょう うわまわ あめ ふ
想定をしていた量を上回る雨が降った
れいわがんねん ひがしにほんたいふう
令和元年(2019年)東日本台風

たまたがわ あさかわ
多摩川・浅川では
1箇所でははんらん 21箇所ではかしょ
堤防や護岸が被災しました。



溢水の状況 (世田谷区提供)
いっすい じょうきょう せたがやくていきょう
溢水の状況 (世田谷区提供)

こうずい あんぜん
洪水を安全に
なが
流すために、
てんけん せいび
点検・整備を
おこな
行っているよ



つうじょう たまたがわ
通常の多摩川



ぞうすい たまたがわ
増水した多摩川



れいわがんねん たいふうひが
令和元年の台風被害



ていぼう てんけん
堤防の点検

多摩川の安全な川づくり -治水・管理-

安全でよりよい多摩川にするために令和元年東日本台風より多くの雨が降っても安全で、治水・環境・利用が調和した多摩川を目指すんだ！

具体的には、石原地点（東京都調布市）で流せる水の量を4,500 m³/sから7,200 m³/sに変更するよ！



高水護岸（こうすいごがん）整備

川の水が増えたときに堤防の高い部分で、水が流れるところを頑丈にします。



築堤（ちくてい）

堤防の高さや幅が不足している場所で、堤防を高くしたり、幅を広げて安全性を高めます。



水衝部（すいしょうぶ）対策

川の水が増えた時に川の流れる勢いよくぶつかる場所を頑丈にします。



高規格堤防（こうきかくていぼう）整備

普通の堤防よりも幅が広く、壊れにくい堤防を整備します。



河道掘削（かどうくっさく）

川の水が流れるところの土砂を掘って、より多くの水を流せるようにします。



出典）多摩川水系河川整備計画読本

治水・環境・利用が調和した川づくり

多摩川の河道掘削では、環境保全・創出のことを考えて掘る形を工夫します。

さらに、みんなが使う施設の利用も考えたうえで実施します。



干潟などを守りながら、安全な川にするんだね



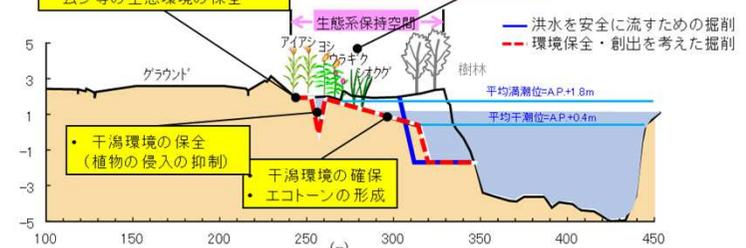
河道掘削のイメージ

※干潟・塩性湿地群落等再生イメージ(セグメント3)

・ヒヌマイドトンボ、キイロホシゴムシ等の生息環境の保全

河道掘削を環境保全・創出を考え、からへ変更します！

・ウラギク・シオグク等の生育環境の再生



※第1回多摩川機能空間区分検討会多摩川下流部河川環境ワーキンググループ(R03.3.5)の資料-4を再掲(一部改)

これまでの多摩川の環境への取り組み



多摩川ならではの自然をよりよくするための取り組みはあるのかな？

多摩川では、市民の皆さんと協力しながら、環境のための取り組みが行われてきたよ。
たくさんあるんだけど、ここでは①生態系保持空間と②地域連携について説明するね♪



①生態系保持空間

多摩川の河川敷を、人工利用するのか、自然のままとするのか
5つのゾーンと8つの機能空間に分けています。

- 5つのゾーン
- A:人工整備ゾーン
 - B:施設利用ゾーン
 - C:整備・自然ゾーン
 - D:自然利用ゾーン
 - E:自然保全ゾーン

- 8つの機能空間
- ①避難空間
 - ②地先施設レクリエーション空間
 - ③広域施設レクリエーション空間
 - ④運動・健康管理空間
 - ⑤自然レクリエーション空間
 - ⑥文教空間
 - ⑦情操空間
 - ⑧生態系保持空間

8つの機能空間のうち、特に貴重な生態系を保持すべき区域は、「生態系保持空間」に指定して、本来の自然環境を守るため、人の立ち入りを制限している区域です。



中上流部のレキ河原



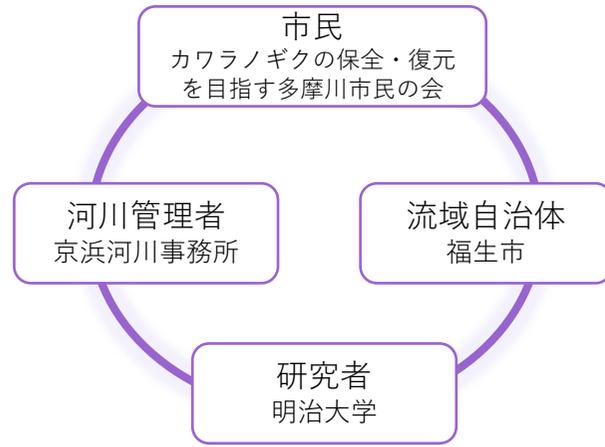
河口部の干潟

②地域連携

多摩川の浅川合流点地区や福生市永田地区などでは自治体と市民と環境団体が協力して、河原の植物を守るために、外来植物を除去しています。
これからも、多摩川のかげがえのない自然や文化を継承するため、関係する市区町村や住民とともに、活動をしていきます。

カワラノギクプロジェクト

河原の自然を代表する植物であった絶滅危惧種のカワラノギクを保全・復元するプロジェクトです。



取組みの様子



カワラノギク

自然豊かな多摩川のために -環境・利水-



これからの多摩川の自然をよりよくするための^{とりく}取り組みはどのようなものがあるかな？

多くの生物が^{せいぶつ}生息し、^{がいらいしょくぶつ}外来植物が増えないような^{とく}取り組みをするよ。
同時に多摩川の^{けいかん}景観にも^{はいりよ}配慮するんだ！



環境目標の設定

生物にとって重要で、最近の多摩川で減ってきている^{かんきょう}環境は、
^{ひがた}干潟、^{すいせいしょくぶつたいてい}水生植物帯（^{ちゅうけいそうち}低・中荳草地）、^{しぜんらち}自然裸地の3つです。
これらの自然環境を増やすことを目標にします！



干潟



水生植物帯



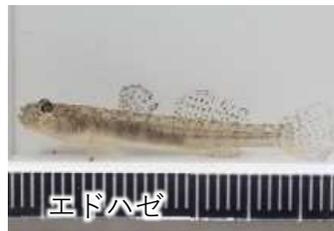
自然裸地

多摩川の^{かこう}河口に広がる干潟にはトビハゼが生息していて、
中流部の^{しぜんらち}自然裸地（^{れきがわら}礫河原）は、
鳥では^{いかるちどり}イカルチドリ、^{こんちゅう}昆虫ではカワラバッタなどが生息しているんだ。
水際には^{しめ}ヨシや^{しめ}湿ったところには^{せいいく}生える植物が生育しているよ。



多摩川の生き物

これらの生き物などが^{きたい}増えることが期待されています。



エドハゼ



ヒメマイトトンボ



シオクグ



オオヨシキリ



アユ



カワラケツメイ



マルタ



カワラノギク



イカルチドリ



タコノアシ



カイツブリ



ミナミメダカ

多摩川水系の環境（動植物の生息・生育・繁殖）の定量目標（案）

多摩川の環境の具体的な目標を支川・浅川を含む6つの区間で設定しているよ。書いている数字は現状→目標なんだ。



【多摩川・支川浅川】 滞留魚対策

たいりゅうぎよたいさく
滞留魚対策
 川を上る魚が魚道に気づかず、堰の下にどまることのないよう魚道に導く流れを作ることだよ。



新しく作られる自然裸地や干潟の面積が設定されたね！

凡 例	
	河道掘削
	築堤対策
	高潮対策
	高水護岸整備
	水衝部対策
	高規格堤防
	樋門整備
	多摩川緊急河川敷道路等
	河川防災ステーション整備
	二極化対策
	滞留魚対策

水辺の楽校の取り組みについて



多摩川で遊んでみたいけど、子どもも安心して活動できる場所はどこかあるかな？

多摩川の流域では「水辺の楽校」という取り組みがあるよ♪
この活動では、子ども達が多摩川に触れて学ぶことができるんだ！

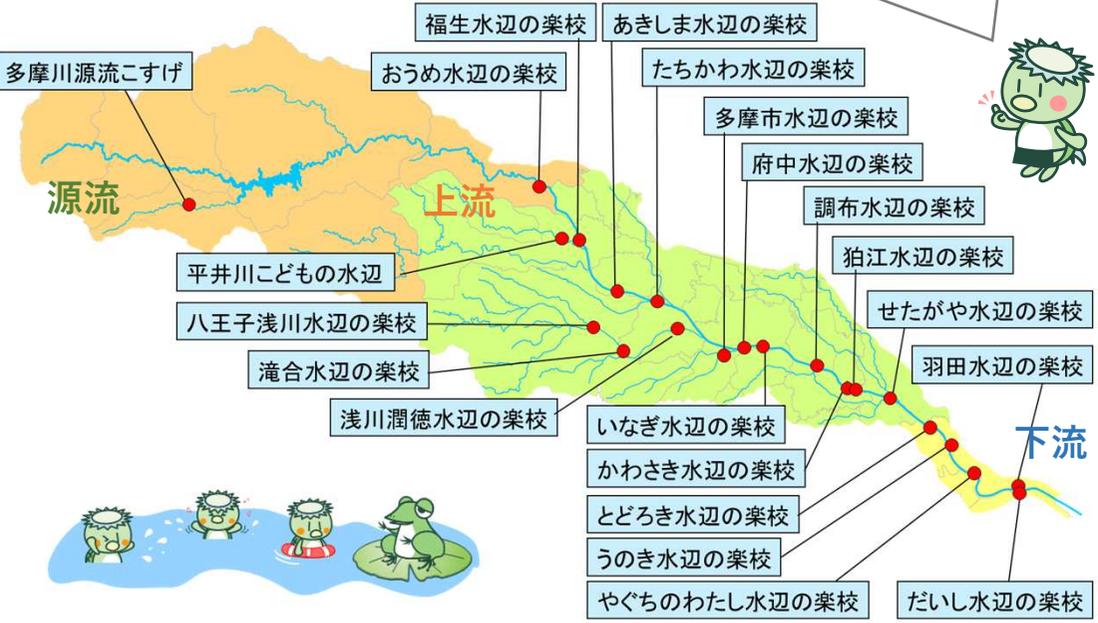


水辺の楽校とは

「水辺の楽校」とは、教育関係者（学校の先生など）、河川管理者、市民団体などが連携して、子どもの河川の利用を活発にし、地域における子ども達の体験活動の充実を目標にしています。

多摩川には、水辺の楽校が21校あります。
各水辺の楽校の活動場所だけではなく、多摩川の源流を訪れるなど、流域の上流から下流までの交流が行われています。

たくさんの場所で活動しているね。



主な活動

水辺の楽校では、ガサガサ魚取り、生きもの観察、カヌー教室など、各水辺の楽校ごとにさまざまな活動をしています。
また、ライフジャケットを着用した親水体験、たも網などを用いた生きもの種類などを調べる調査活動もあります。



ガサガサ魚取り



鳥の観察会



カヌー教室



上流での体験



いかだ作り



生きもの観察



多摩川と連携したまちづくり



多摩川でほかにも賑わっている場所を知りたいなあ・・・

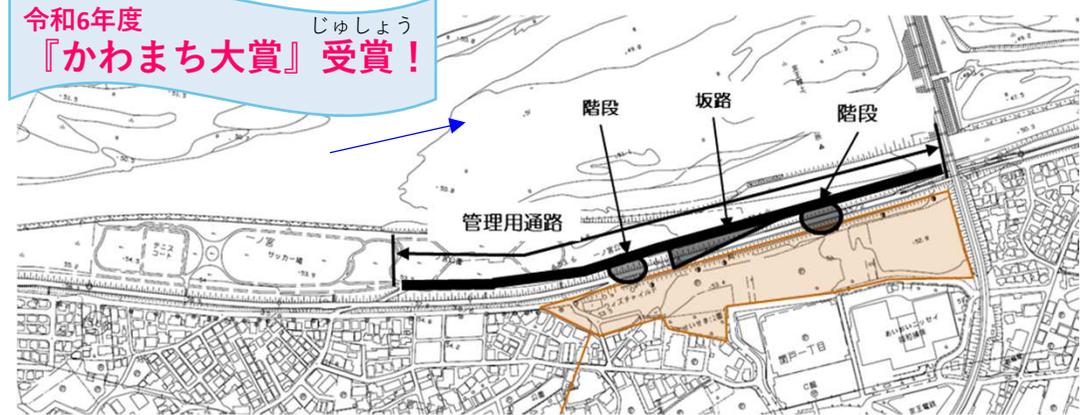
川沿いの空間とまちが一体となって、にぎわいを創出するかわまちづくり
というものがあるよ。多摩川では近隣の市区町と一緒に取り組んでいるんだ！



聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり (東京都多摩市) 令和5年供用開始

多摩市と地元の方々、マンション整備会社、京王電鉄が協力して、取り組んでいます。

令和6年度『かわまち大賞』受賞！



イベントを開催したときには、たくさんの方があつまっているね



狛江市かわまちづくり (東京都狛江市) 令和6年計画登録

狛江市と地元の方々、事業者が協力して、階段や坂路などを整備し、良好な空間形成を目指しています。



通路
坂路(スロープ)

整備前
通路が分断されており水辺を利用しにくい
河川敷に移動しづらい

整備後
通路を整備
水辺周辺を利用しやすくなります
坂路を整備
子ども、車椅子の方が河川敷に近づきやすくなります

多摩川水系 (国が管理する区間) の全体図



多摩川と支川の浅川を5つの区間に分けて紹介するね。



環境：扇状地、交互砂州
 生物：アユ、ウグイ、セグロセキレイ等

環境：干潟、ヨシ原
 5kmまで：汽水域
 5-13km：感潮域
 生物：トビハゼ、シギ・チドリ等

環境：溪流、斜面林
 生物：ニッコウイワナ、ヤマメ、カジカ、イカルチドリ等

環境：礫河原、ワンド
 生物：アブラハヤ、ホトケドジョウ、セグロセキレイ等

環境：交互砂州、ワンド・たまり、礫河原
 生物：ヒガシマドジョウ、ミナミメダカ、コチドリ等

いつも利用している区間の計画を見てみよう！



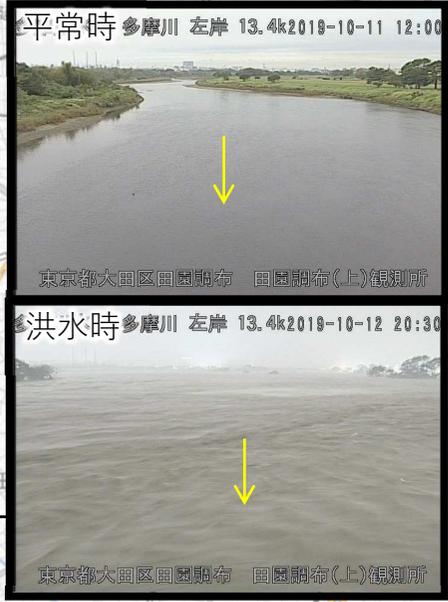
出典：国土地理院 地理院タイル(淡色地図)

区間① (1番海に近い区間)



水衝部 (すいしょうぶ) 対策

川の水が増えた時に川の流^{なが}れが勢^{いきお}いよくぶつかる場所を頑^{がんじょう}丈にします。



令和元年東日本台風時の様子

築堤 (ちくてい)

堤防の高さや幅が不足している場所で、堤防を高くしたり、幅を広げて、安全性を高めま^{あんぜんせい}す。



河道掘削 (かどうくっさく)

川の水が流れるところの土砂を掘^{どしゃ}って、より多くの水を流せるようにします。



高潮 (たかしお) 対策

台風^{たいふう}のときの高潮^{たかしお}があふれないよう堤防を高くします。

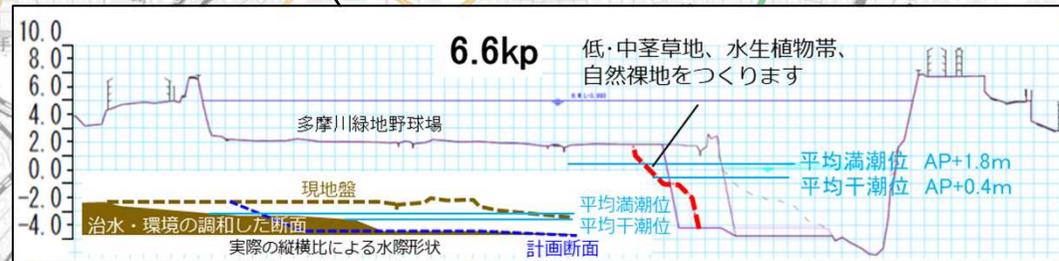


高規格堤防 (こうきかくていぼう) 整備

普通の堤防よりも幅が広く、壊れにくい堤防を整備^{せいび}します。



大師河原防災ステーション(整備済み)



区間②

水衝部 (すいしょうぶ) 対策

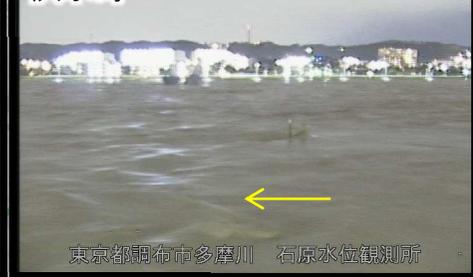
川の水が増えた時に川のながい流れが勢よくぶつかる場所を頑丈にします。



平常時 多摩川 左岸 27.6k 2019-10-11 12:03



洪水時 多摩川 左岸 27.6k 2019-10-12 21:43



令和元年東日本台風時の様子 石原

河道掘削 (かどうくっさく)

川の水が流れるところの土砂を掘って、より多くの水を流せるようにします。



高水護岸 (こうすいごがん) 整備

川の水が増えたときに堤防の高い部分で、水がながれるところを頑丈にします。



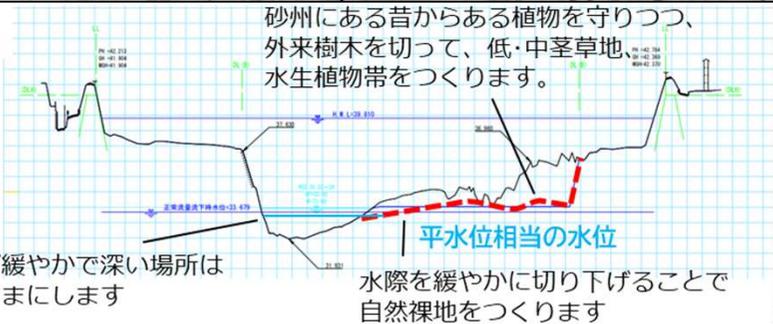
築堤 (ちくてい)

堤防の高さや幅が不足している場所で、堤防を高くしたり、幅を広げて、安全性を高めます。



30.4kp

砂州にある昔からある植物を守りつつ、外来樹木を切って、低・中草草帯、水生植物帯をつくります。



流れが緩やかで深い場所はそのままにします

水際を緩やかに切り下げることで自然裸地をつくります



区間③

築堤 (ちくてい)
 ていぼう たか はば ふそく
 堤防の高さや幅が不足している場所で、
 堤防を高くしたり、幅を広げて、
 あんぜんせい
 安全性を高めます。




令和元年東日本台風時の様子 日野橋

高水護岸 (こうすいごがん) 整備
 ていぼう
 川の水が増えたときに堤防の高い部分で、
 なが
 水が流れるところを頑丈にします。



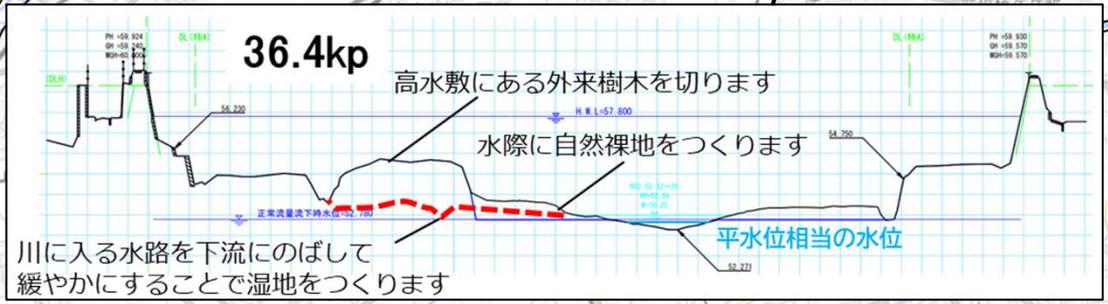
水衝部 (すいしょうぶ) 対策
 なが いまお
 川の水が増えた時に川の流りが勢い
 がんじょう
 よくぶつかる場所を頑丈にします。



河道掘削 (かどうくっさく)
 どしゃ
 川の水が流れるところの土砂を掘って、
 より多くの水を流せるようにします。



関戸 (多摩市) 水防拠点(整備済み)
 防災拠点と同位置で
 防災ステーションを整備予定



出典: 国土地理院 地理院タイル(淡色地図)

区間④ (1番海から遠い区間)



令和元年東日本台風時の様子 調布橋

高水護岸 (こうすいごがん) 整備

川の水が増えたときに堤防の高い部分で、水が流れるところを頑丈にします。

水衝部 (すいしょうぶ) 対策

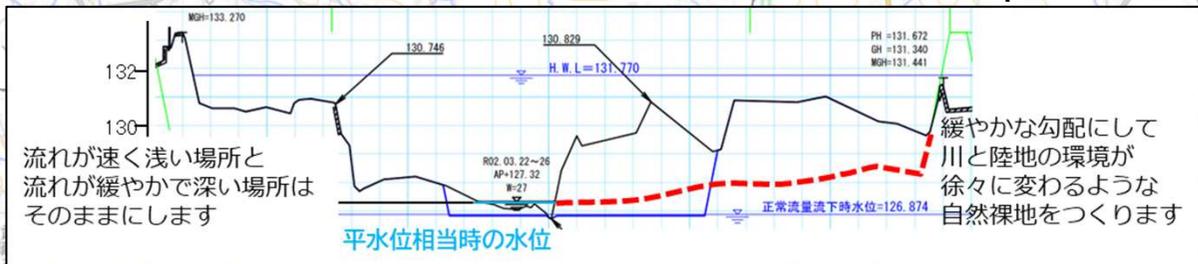
川の水が増えた時に川の流勢が勢よくぶつかる場所を頑丈にします。

築堤 (ちくてい)

堤防の高さや幅が不足している場所で、堤防を高くしたり、幅を広げて、安全性を高めます。

河道掘削 (かどうくっさく)

川の水が流れるところの土砂を掘って、より多くの水を流せるようにします。



南田園 (福生市) 水防拠点(整備済み)

海から50km

下流



区間⑤ (支川 浅川)

築堤 (ちくてい)
 ていぼう たか はば ふそく
 堤防の高さや幅が不足している場所で、
 堤防を高くしたり、幅を広げて、
 あんぜんせい
 安全性を高めます。



令和元年東日本台風時の様子 浅川橋

河道掘削 (かどうくっさく)
 どしゃ
 川の水が流れるところの土砂を掘って、
 より多くの水を流せるようにします。



水衝部 (すいしょうぶ) 対策
 なか いきお
 川の水が増えた時に川の流りが勢い
 よくぶつかる場所を頑丈にします。



石田防災ステーション (整備中)

大臣管理区間 上流 浅川橋

高水護岸 (こうすいごがん) 整備
 ていぼう
 川の水が増えたときに堤防の高い部分で、
 なが がんじょう
 水が流れるところを頑丈にします。

